

## 知事メッセージ

はいさい ぐすーよー ちゅーうがなびら。

5月12日は「民生委員・児童委員の日」です。民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱される地域の身近なボランティアで、全国で約23万人が委嘱され、各市町村の担当地域で活動しています。また、法律上の守秘義務を有しているため、安心して相談することができます。

沖縄県において約2千名の民生委員・児童委員の皆様が、誰もが安心して住み慣れた地域で暮らせるよう献身的に活動されていることに対し、深く敬意を表するとともに、県民を代表して心から感謝申し上げます。

人と人との関係性や「つながり」が希薄化する中、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化することにより、孤独・孤立の問題が顕在化し、社会問題となっています。

誰にも頼れず、ひとりで悩みを抱える人が増えている中、民生委員・児童委員は、担当する地域を訪問し、子どもたちや独居の高齢者の見守り、子育ての不安や経済的な不安を抱えている方の相談に応じたり、相談窓口の情報提供を行っており、福祉行政とのつなぎ役としての役割は、より一層重要なものとなっています。

本年12月1日には、3年に一度の民生委員・児童委員の一斉改選が行われます。本県では欠員が多い状況が続いており、さらに一斉改選においては多くの方が退任されるため、担い手の確保が重要な課題となっております。

県では、多くの方に民生委員・児童委員として御活躍いただけるよう、活動内容を発信する広報活動を行うとともに、民生委員児童委員協議会、市町村等と連携し、民生委員・児童委員の皆様が活動しやすい環境づくりに取り組んでいます。

本日から5月18日までの1週間は、「民生委員・児童委員の日活動強化週間」となっており、その活動の重要性を広く周知するため全国一斉に様々なPR活動等が行われます。

県民の皆様におかれましては、「民生委員・児童委員の日活動強化週間」を機に、民生委員・児童委員の活動に対し、一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

ゆたさるぐとう うにげーさびら。

令和4年5月12日

沖縄県知事 玉城 デニー